



きちきち ニュースレター

Vol.5
2014年5月

発行: 公益財団法人日本YWCA 基地チーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 302 号室

tel: 03-3292-6121 fax: 03-3292-6122

www.ywca.or.jp office-japan@ywca.or.jp

～選挙の年、オール沖縄で～

子どもたちの未来のために

大人の生き方を示したい

YWCAの皆様、初めまして。私は、沖縄の教訓「命どう宝」を胸に子どもたちを二度と戦場に送りたくない一念で、微力ながら活動を続けている沖縄県那覇市在住の城間えり子と申します。

「きちきちニュース」を拝読し、その具体的な行動と発信内容に大きな勇気と励ましをいただきました。私たち沖縄人(ウチナーンチュ)にとって、沖縄の基地問題はまさに「日本の問題」で、常に本土の皆さんの理解と協力と連帯を心から求めています。誤った国策のツケは、真っ先に、弱いところや「辺境」、小さいところに回ってきます。どこの地域でも受け入れたくない基地やオスプレイを沖縄に集中させている差別的状況、その元凶は、ほんの一握りの人々の利益のために多額の思いやり予算(税金)で成り立つ「日米安保」に他なりません。その不平等と不条理を正すことに知恵を出し合っていけないものでしょうか。また、沖縄の実態について「基地経済で成り立っているのではなく、基地は経済の阻害要因である」という正しい認識を広めたいのです。それが普天間基地無条件撤去、ひいては沖縄の現状を変えていく大きな力になることは間違いありません。

先の名護市長選では凄まじい金と権力を跳ね返し、市民は新基地建設反対の明確な民意を示し、私たちに大きな誇りと自信を与えてくれました。しかし

その結果を日米両政府は踏みにじり、執拗かつ強引に基地建設を推し進めようとしています。私たちは、沖縄の誇りをかけ必死の抵抗を続けています。

沖縄は今年、選挙の年。名護に始まり、石垣・沖縄市他、そして11月(予定)の県知事選と続きます。沖縄における人権・自治・自立と民主主義が問われる大事な闘いです。今、沖縄では「オール沖縄」の新しいうねりが生まれてきています。かつての島ぐるみ闘争に学び「島ぐるみ会議」が発足。さらに、知事選挙に向けて従来の保革の枠を超えた県民ぐるみの候補者選びが進められています。「安倍政権 VS オール沖縄」の闘いは、まさにこれからが正念場です。

「日米同盟強化」を唱えながら隣国の脅威を煽り、憲法を変えて戦争できる国へと突き進む安倍政権の暴走を食い止めるため、本土の皆さんと連帯していけたらと願っています。

怯むことなく、騙されず、流されず、地道に。自分の頭で考える主権者意識を草の根から…子どもたちの未来のために大人の生き方を示していきたいと考えています! 大河の流れも一滴から…。

全国の皆様の応援よろしく願いいたします。

城間えり子

ヤンバルクイナ: 世界中で沖縄県北部の山原(やんばる)地域だけに生息する飛べないクイナ。この20年間に減少の一途をたどり、分布もせばまっており、日本の鳥の中でもとも危機が迫っている種と言われている。



<やるきち>

平和の種を植える 日本全国キャラバン中の
知念優幸さんを迎えて

だれかの犠牲の上に立つ「平和」



前号の「きちきちニュース」4号でご紹介した、全国キャラバン中の、沖縄キリスト教学院大学生の知念優幸さんが福岡YWCAと呉YWCAを訪ねてくれました。福岡は4月15日、呉は4月26日に知念さんを迎えお話を伺う会を開催しました。以下に呉YWCAでの集いの模様を掲載します。

* * *

日時: 2014年4月26日(土)18:00~20:00

会場: 呉YWCA

講師: 知念優幸さん(沖縄県キリスト教学院大学平和研究所所属/Team Ryukyū)

福岡YWCAの野崎総幹事より、知念さんのキャラバンの様子を紹介するメールをいただき、すぐに連絡を取った。「呉まで、迷わずに来てもらえるのかな」。そんな不安が通じていたのか、約束の時間よりずいぶん早く、彼は沖縄ナンバーの軽自動車と呉YWCAにやってきた。慣れた手つきで会場の設営。機器もすべて自前。開会前、呉に停泊中の艦船などを会員が案内し、報告会は14人の参加で始まった。

映像で紹介される「高江のゲンさん」「標的の村」「オスプレイ」。それから彼は冷静に、しかし怒りを込めて沖縄の現状を語った。誰もがもっとたくさん沖縄のことを聞きたいと思いながら夜は更けていった。

若い参加者からの感想を紹介する。「沖縄と本土とは、まったく違う風習・教育であり、ある意味では分かり合えないのかなあ、と思った。今の自分の平和(と言っていいのかわかりませんが)は沖縄の犠



知念優幸さん(左から4人目)と参加者たち

牲の上に成り立っていると改めて思いました。日本の今の若者は団結してデモなんかをやる人がとても少ないのは少し悲しいと思った。今の若者は無知すぎる。(報告: 呉YWCA 総幹事 平城智恵子)

* * *

知念さんは、6月に兵庫・大阪・京都・滋賀へ、その後、石川県・新潟県と日本海側を北上して北海道に行き、復路は太平洋側を南にくだる予定です。知念さんのお話を聞く会開催をご希望の場合は、日本YWCAまでご連絡ください。

<みるきち>

「平和の光の柱トライアングル」報告動画

4月1日(沖縄戦において米軍が沖縄本島に初めて上陸した日)に、初上陸地のひとつ読谷村で開催されたイベント「平和の光



の柱トライアングル」の様子を短く編集したPVができました。中野夢さん(沖縄YWCA会員)の琉球笛の音色をぜひ聴いてみてください。

⇒ <http://youtu.be/mNv0NZ0L0OQ>

以下でも当日の様子が見られます。

●FMよみたんHP

<http://youtu.ti-da.net/d2014-04-02.html>

●ウエチマサシさんブログサイト

<http://m34k2y.ti-da.net/e6115570.html>

トライアングルの3本の光は、沖縄戦で使われたサーチライトをそのまま使っています。



<みるきち> わたしが するブログ

「海鳴りの島から」他

沖縄の現実を知るために、ブログをさがしてみました。そうして得た情報や「沖縄の現実」を皆に知らせましょう。拡散しよう！

★「海鳴りの島から」で、作家の目取真俊(めどるましゅん)さんの発信に耳を傾けて考えたい。

⇒「海鳴りの島から」沖縄・ヤンバルより目取真俊
<http://blog.goo.ne.jp/awamori777>

★辺野古新基地建設の現状と、辺野古座り込みテントの今を知るために

⇒「辺野古浜通信」 <http://henoko.ti-da.net/>

★オスプレイ配備のためのヘリパッド建設工事と、ヤンバルの森・東村高江の座り込みテントのいまを知るために⇒「やんばる東村・高江の現状」

<http://takae.ti-da.net/>

★『琉球新報』 <http://ryukyushimpo.jp/>

★『沖縄タイムス』<http://www.okinawatimes.co.jp/>

2014年4月26日シンポジウムの報告 沖縄の問いにどう応えるか 北東アジアの平和と普天間・辺野古問題

主催：普天間・辺野古問題を考える会

共催：法政大学沖縄文化研究所

今年1月に声明「私たちは名護市辺野古に新たな基地を建設することにあらためて反対する」を発表した憲政史家の古関彰一さん、立教大学教授の西谷修さんたちが開いた法政大学でのシンポジウムに700名が集まった。

大江健三郎さん、琉球大学教授の我部政明さん、オーストラリア国立大学名誉教授のガバン・マコーミックさんの講演も熱が入り、琉球大学教授の島袋純さんたち9名の発言で「島ぐるみ闘争」構想が語られ、学生や参加者が聴き入った。力強い歩みを実感した。

連載：日米地位協定ってなんですか①

戦後日本の「パンドラの箱」?

「日米地位協定」って聞いたことがありますか？
沖縄県知事公室ウェブサイトには、「沖縄で、米軍による犯罪が減少しない大きな原因の一つに日米地位協定に関わる問題があると考えています」と記載されています。

原発と再稼働、TPP、オスプレイ配備、増税などの多くの問題が、「日米地位協定」を源流としている、と聞いたら、あなたはどう思いますか？

「琉球新報」での27年間の記者生活後、現在は沖縄国際大学教授である前泊博盛さんが、「戦後日本のパンドラの箱」とも言う日米地位協定について、今号より取り上げます。

1960年1月19日に結ばれた「日米地位協定」。正式名称は「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協定および安全保障条約第6条にもとづく施設および区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」と言い、その名の通り在日米軍の法的地位に関する協定です。前泊さんは、著書『本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」』の中で、これを「アメリカが占領期と同じように日本に軍隊を配備し続けるためのとり決め」と定義しています。

1945年の敗戦から約6年半、日本は占領されており、占領軍は日本国内で好きなように行動することができました。1952年4月にサンフランシスコ講和条約が発効し日本は独立を回復しましたが、新たに結ばれた日米安保条約のもと、占領軍にかわり在日米軍が駐留し続けることになりました。基地の使い方も、米軍兵士や基地で働く人の権利もそのままでした。そして、独立から60年たった今日でもなお、占領期とまったく変わらず在日米軍が行動するための取り決め、それが「日米地位協定」です。(つづく)

参考*『本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」』

前泊博盛著、創元社

*沖縄県知事公室ウェブサイト

<http://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kichitai/documents/kadai.pdf>

<いくきち> 訪ねてみよう~

佐喜眞美術館



佐喜眞美術館は、佐喜眞道夫さんが、先祖の土地だった米軍普天間基地の一部を取り戻した場所に1994年に開館。

「芸術の力は、人間の想像の力です。戦跡や在沖米軍基地を見学することで得られる知識も大変重要ですが、それに感性や感動という身体感覚が加わることで、より深い知識となるのではないのでしょうか。」
(佐喜眞道夫さん)

第三展示室には、丸木位里・俊の共同制作による連作『沖縄戦の図』が展示されています。丸木夫妻は、「日本人の多くは体験した『空襲』を戦争と誤ってしまっている。世界で起こっている戦争は地上戦なんだ。空襲と地上戦は全く違う。日本人は戦争に対する考え方は甘い、こういう国はまた戦争をすることもかもしれない」と述べていました。



行ったことのない方はぜひ足を運んでください。

〒901-2204 沖縄県宜野湾市上原 358
TEL 098-893-5737 FAX 098-893-6948
開館時間 9:30~17:00 火曜休館
入館料 大人 700(630)円 中高生 600(540)円
子ども 300(200)円 ※ ()内は団体料金
<http://sakima.jp/> メール info@sakima.jp

<やるきち>

辺野古新基地建設反対の 意見広告、賛同募集中!



「沖縄意見広告運動」は、2010年3月以来、辺野古新基地建設反対の意見広告を国内紙に掲載の運動を続けており、賛同人・賛同団体を随時募集しています。

現在、第5期沖縄意見広告運動として、6月初旬に国内紙への意見広告掲載を行うための賛同を呼びかけています。ぜひご賛同ください。

詳細⇒ <http://www.okinawaiken.org/>

* 日本YWCAは団体賛同しています。

■賛同金

個人:1口 1,000円 / 団体:1口 5000円

郵便振替:00920-3-281870

加入者名:意見広告

詳細⇒ <http://www.okinawaiken.org/recruitment/>

なお、「沖縄意見広告運動」では、5月15日からの稲嶺名護市長訪米にあわせて、米ワシントンポスト紙電子版に意見広告を掲載します。この意見広告には、ノーム・チョムスキーさん(言語学者)、マイレド・マグワイアさん(ノーベル平和賞受賞活動家)、オリバー・ストーンさん(映画監督)らが共同でアピールしています。

詳細⇒ <http://www.okinawaiken.org/1953/>

